

# チャレンジ鹿児島労働局（17年4月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町13-21

099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

## ハローワーク鹿児島「ワークプラザ天文館」のサービス提供時間を延長

ハローワーク鹿児島では、4月11日から附属施設で鹿児島商工会議所ビル（アイムビル）6階に設置している「ワークプラザ天文館」においてサービス提供時間の延長を実施しています。

業務時間は、平日は9時30分から18時まで、土曜日は10時から17時までです。

「ワークプラザ天文館」は鹿児島市天文館の中心地にあり、多くの求職者が利用しており、土曜日には、200人を超える来所者（求人パソコン利用者）があり、4月16日は65件、23日は66件の相談者がありました。

在職求職者等からは「今まで来られなかったが、来られるようになってよかった」など好評を得ています。（職業安定部職業安定課）



## 次世代法に基づく一般事業主行動計画の届出が順調

鹿児島労働局雇用均等室では、次世代法に基づく一般事業主行動計画について、これまで各種事業主説明会や、主要企業との行動計画作りに向けた研究会

の開催等を通じて、本年4月からの計画の届出受け付けに向けて取り組んできましたが、4月25日現在で、届出義務となっている301人以上の企業110社のうち、33企業（中小企業も含め38企業）からの届出があり、順調な滑り出しとなっています。

今後は、義務となっている企業の計画策定・届出をさらに推進するとともに、次世代育成支援センターに指定している鹿児島経営者協会、鹿児島県中小団体中央会などと連携して、中小企業の計画策定・届出に向け、引き続き周知、啓発に努めていくこととしています。（雇用均等室）



（一般事業主行動計画策定準備研究会（17.1.18）の様子）

## **監督署、安定所の組織見直しに向け精力的に準備**

鹿児島労働局では、来年3月31日に、行政サービスの均質的で効率的な提供を行なう観点から、労働基準監督署を現在の7署から5署に、ハローワーク（出張所及び分室を含む。）を現在の20所から14所に見直すこととしています。

この組織見直しにより、サービスが低下することなく、むしろ効率的で、充実したサービスが提供できるよう、業務の集中化やサービス提供体制のあり方などについて委員会を設置し、労働局、労働基準監督署、ハローワークそれぞれのレベルにおいて精力的に検討しています。いよいよ実施まで1年をきりましたので、工程表を策定し、労働局を挙げて、着実に準備していくこととしています。（総務部総務課）

## **地域提案型雇用創造促進事業でまちを活性化・・・6地域が応募**

鹿児島県は、3月の有効求人倍率が0.52倍と全国でも低水準にあるなど、厳しい雇用情勢が続いています。こうした中で、鹿児島労働局では、16年度、就職率の目標を32.0%に掲げ、実績として33.9%、就職数は対前年度

比で3.9%の増となるなど、労働市場のマッチングの強化に努めてきましたが、県下に好調な業種の企業が少ないなど、仕事自体が不足している状況にあります。

こうした中で、本年度の新規事業である地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）について、雇用創出を図る観点から、市町村への積極的に周知、相談等を行なってきたところですが、今回、6つの地域（大口・伊佐地域。垂水市、阿久根市、名瀬市、瀬戸内町、与論町）から事業構想の応募があり、採択されることを期待しているところです。

この他、労働局では、鹿児島県とも密接に連携して、雇用の場の拡大を図っていきたいと考えております。（職業安定部職業対策課）